

「札幌市職員向けアンコンシャス・バイアス研修実施業務」に係る公募型企画競争の審査結果

評価項目		委員一人当たりの配点			満点 (委員7名)	参加者と合計点	
		採点 a	加重 評価b	配点 a×b		A社	(公財) さつ ぼろ青少年女 性活動協会
評価基準(着眼点)							
I 業務実績等	1 類似業務実績	最高 5点	-	5点	35	35	35
	令和5年度以降における官公庁等への「アンコンシャス・バイアス」及びその他関連テーマに関する研修実施実績数に応じて加点。 ①1件：3点、②2件：4点、③3件以上：5点。						
	2 企画競争受注実績	最高 5点	-	5点	35	35	21
	令和5年度以降における官公庁の調達において、企画競争の結果により受注した実績数に応じて加点。 ①1件：3点、②2件：4点、③3件以上：5点。						
	業務実績等計	10 点		10点	70	70	56
II 企画提案	1 業務内容の理解度・方針(5段階評価)	最高 10点	-	10点	70	46	54
	研修の目的及び「札幌市誰もがつながり合う共生のまちづくり条例」の理念を正しく理解し、これに沿った適切な基本方針が示されているか。 (10点：特に優れている 8点：優れている 6点：普通 4点：やや不十分 2点：不十分)						
	2 講師の専門性・指導力(5段階評価) (※1 選定に係る特定評価項目)	最高 10点	×2倍	20点	140	92	112
	講師が、具体的な業務実施や市民対応の場面で踏まえた指導ができる専門性、過去の実績、及び受講者の意欲を引き出す高い指導力・ファシリテーション能力を有しているか。 (10点：特に優れている 8点：優れている 6点：普通 4点：やや不十分 2点：不十分)						
	3 具体的なカリキュラム・手法(5段階評価) (※1 選定に係る特定評価項目)	最高 10点	×3倍	30点	210	156	156
	受講者の「気づき」から「対処法」の理解、「業務への活用」に繋がるよう、基礎編(肯定的理解)と応用編(行動変容)の目的に即した具体的なカリキュラムや研修手法(意見交換、グループワーク等)が設計されているか。 (10点：特に優れている 8点：優れている 6点：普通 4点：やや不十分 2点：不十分)						
	4 資料作成・実施体制(5段階評価)	最高 10点	×1.5倍	15点	105	66	84
見やすさ、使いやすさに配慮した資料作成の方針が示されているか。また、業務を確実にかつ円滑に履行できる実施体制(予定していた講師が急遽登場できなくなった場合など)・スケジュールが整っているか。 (10点：特に優れている 8点：優れている 6点：普通 4点：やや不十分 2点：不十分)							
5 アンケート項目・独自提案(5段階評価)	最高 10点	-	10点	70	44	54	
アンケートの必須項目に加えて、研修効果を的確に測定するための独自の質問設計がなされているか。また、本業務の成果をより効果的なものにする独自の工夫や付加価値が認められるか。 (10点：特に優れている 8点：優れている 6点：普通 4点：やや不十分 2点：不十分)							
6 積算額	5 点	-	5点	35	24	24	
確実に業務を履行できるよう適正に積算しているか。 (5点：特に優れている 4点：優れている 3点：普通 2点：やや不十分 1点：不十分)							
	企画提案内容計	55 点		90点	630	428	484
合 計					700	498	540